

2024年12月

CWS JAPAN NEWSLETTER NO.99

いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、
ご理解をいただき、ありがとうございます

災害に強い アフガニスタンに 向けて

こんにちは、事務局長の小美野です。

厳しい状況が続いているアフガニスタンですが、防災力向上の取り組みを続けています。アフガニスタンは、洪水や地震といった災害に何度も襲われてきた国です。政治的な不安定さが続く中、災害から命を守ることは、とても大切な課題となっています。外務省NGO連携無償資金協力で続いている取り組みから、今回は最新の成果とともに現地の状況をお伝えします。

▼前回の記事はこちらから



インフラ整備と技術の伝承

プロジェクトの大きな成果の一つは、ラグマン県のHussain Abad村に建設された500メートルの防護壁です。この防護壁は、特に暴れ川（洪水や越水が多い河川）から村を守るだけでなく、現地の地形データと洪水データに基づいた設計を実現しました。災害リスクを精査してからインフラの計画を作るというプロセスは日本人にとっては普通のことです

が、アフガニスタンではまだ定着していません。実例を持って、ノウハウを広めていきたいと思っています。



完成した防護壁©CWSA

さらに、災害対策の専門家育成にも大きな進展がありました。ハザードマップ作成の技術者を128名、防災インフラ計画の専門家を54名、育成することができました。QGISやリスク分析の研修を通じて、政府機関、NGO、大学の関係者の能力を大きく引き上げることに寄与できました。



地形判読やハザードマップづくりを学ぶ
研修参加者©CWSA

教育への投資

さらに大きな達成点としては、カブール大学に防災専門の修士課程カリキュラムを設立できたことです。高等教育省からの承認も得て、驚くべきことに、市場調査では98%の人が防災修士号へ強い関心を示してくれました。これはアフガニスタンの未来を担う人材を育てるための、多くの人の努力の結晶です。



カブール大学内に設置している研修施設©CWSA

試練を乗り越えて

2024年2月に発生した豪雨災害は、大きな試練でした。以前に完成した防災インフラが損傷を受けたのです。しかし、事業チームはすぐに対応し、外務省のご理解も頂き、予算を組み替えて迅速に修復しました。



チェックダムの修復中©CWSA

パキスタンからの強制帰還や、さらに厳しさを増す政治情勢。そんな困難な状況の中でも、現地のパートナー団体、政府機関、地域コミュニティとの強い絆により、プロジェクトは計画通りに進められました。

ともに学ぶこと

この事業が示したのは、外部から「教える」のではなく、現地の人々と「共に学ぶ」アプローチの大切さです。災害対策の知識やスキルを伝えるだけでなく、自分たちの力で課題

に立ち向かう力を育んでいます。

アフガニスタンが直面する災害リスクを考えれば、この取り組みはまだ小さな一歩だと思います。しかし、これが大きな「うねり」になるように、仲間を増やし、アフガニスタンの防災力向上へ引き続き取り組んで参ります。

(文：事務局長 小美野剛)



皆さまのご理解・ご支援を
心よりお願い申し上げます。

継続的な
寄付

今回のみ
寄付

地域人道パートナー週間(RHPW)に出席しました

こんにちは、五十嵐豪です。

先週バンコクで開催された国際会議である「地域人道パートナー週間(Regional Humanitarian Partnership Week: 以下、RHPW)」に参加してきた様子と内容を報告します。

▶RHPW紹介ページはこちら(英語)。

会議の概要および各セッションの内容が閲覧できます。

地域人道パートナー週間(RHPW)とは

RHPWは毎年12月上旬にバンコクで開催されるアジア太平洋地域のNGOを中心として、国連をはじめとした国際機関やネットワーク機関、コンサルタント、専門機関など、人道支援に関わる人たちが集い、最新の人道支援の潮流を学び、現場での経験や課題を共有し合う場になっています。今年は過去最大の400名以上が参加しました。また参加者は60カ国近く、アジア太平洋地域だけでなく、中東、欧州、アフリカ、南北米など世界中から集まりました。

多くの大規模な国際会議は、国連機関をはじめ、各国政府代表や大手のNGOが中心に開催されることが多いのですが、RHPWの特徴として、各国の現地NGOの参加が中心となっており、地域の人々と直接関わっている本当の現場の実践者が多く集まっています。



開幕の挨拶で支援関係者の連携の大切さを訴える
CWS Japan事務局長の小美野 ©CWS Japan

会議を通しての学び

会議は12月10日から12日までの3日間にわたり開催されました。開会の挨拶は、この度アジア防災・災害救援ネットワーク(ADRRN)の理事長に就任したCWS Japan事務局長の小美野によって行われました。開会と閉会の基調講演以外は、基本的に3つの会場に分かれて朝から夕方まで様々なトピックの分科会が開催され、参加者が新たな知識を学び、経験を共有する場になりました。

私が特に気になったトピックは、人道支援の近年の潮流となっているローカライゼーション(支援の現地化)やHDPネクサス(人道・開発・平和構築の連携)について、こうした概念が実際の現場でどのくらい機能しているのか、またどのような課題に直面しているのかということを知ることでした。またNature-based Solutions(自然を基盤とした解決策)という比較的新しい考え方についても実践例が紹介され、非常に興味深かったです。その他にも、ブロックチェーンやAI(人工知能)などの最新技術を用いた支援手法など、とても学ぶことが多かったです。



会場前の様子。ブースを出す団体があり、参加者同士が交流を深めていました。©CWS Japan

支援関係者との交流の重要性

こうした国際会議では分科会や基調講演で学ぶ内容だけでなく、そこに集まる多様な人々と交流し、新たなパートナーシップの可能性を模索したり、既存のパートナーとの交流を強化する場とすることです。私自身も、CWSの他の国の職員と交流を深めるだけでなく、パキスタンやアフガニスタン、フィリピン等で現在または最近パートナーを組んだ現地団体と課題や今後の展開の可能性を話すなど、関係強化の機会にすることができた他、普段活

動をしていない国の現地NGOや関わることの少ない分野の国際機関やネットワークと知り合う貴重な機会になりました。



CWSとしては日本だけでなく、タイ、インドネシア、カンボジアからも参加しました ©CWS Japan

CWS Japanとしては、現場の支援の質を高め、活動をより円滑に実行するためにも、現地パートナーや各分野のネットワークとの連携を重視しています。今回RHPWに参加して学んだ知識や他団体の取り組みの経験、強化されたネットワークを今後の支援活動に反映できるように努めていきたいと思ひます。

(文：プログラム・マネージャー
五十嵐豪)

さまざまなSNSで 情報をお届けしています

CWS Japanでは各種SNSで、日ごろから情報をお届けしています。お好きな方法で最新情報をぜひチェックしてみてください



各種SNSは
ここをクリックor
QRコード読み込み

認定NPO法人CWS Japan @Japan_CWS · 2024年12月26日
\note記事「紅茶&デザートクッキング」と「クリスマス歌声カフェ」の2本立て|12月のコミュニティ・カフェ@大久保を公開/
今回は、今年ラストとなる12月のコミュニティ・カフェ@大久保 (@commucafes2023) のレポートと1月のカフェ企画のお知らせをお届けします



設定

CWSJapan

CWS Japanは国内外で災害対応・防災支援をするNPOです
🌐2011年の東日本大地震を機に、日本での活動を開始しました。
毎週金曜日に団体の活動や職員の想いを載せた記事を配信しています

「紅茶&デザートクッキング」と「クリスマス歌声カフェ」の2本立て 12月のコミュニティ・カフェ@大久保

皆さん、こんにちは！CWS Japanの五十嵐望美です。

2024年はコミュニティ・カフェ@大久保を始めてから2年目の年でしたが、今年もさまざまなコラボ企画を交えたイベントを開催しながら、地域の活動や交流の幅を広げることができました！今回は、12月のコミュニティ・カフェ@大久保のレポート記事をお届けします。

プロから学ぶ紅茶とデザートクッキング

12月4日(水)のコミュニティ・カフェでは、ルーテル教会の教会員であるミッキーさんをゲストにお迎えして、クッキングイベントを開催しました。



ドリンク作りを長年極めてきたミッキーさんから紅茶やチャイのおいしい飲み方についてレクチャーしていただき、さまざまな茶葉のお茶を飲み比べたり、最後はケーキ屋さんから取り寄せたプラチョコとスポンジケーキを使ったデザート作りの飾り付けを楽しんだ

りと、一緒に味わうことができました。



紅茶や茶葉に関するレクチャーをわかりやすく教えていただきました ©CWS Japan



お茶の種類によって熱湯の温度を使い分けたり、おいしく飲む方法などもテイスタリングをしながら学ぶことができました©CWS Japan



最後はケーキ屋さんから取り寄せた
スポンジとプラチョコを使ったデザート作り。
こちらもおいしかったです ©CWS Japan

参加者からは奥深いお茶の世界を知る機会に
なったという声も聞かれ、またキッチンでは
終始スパイスの良い香りが漂い、終始賑やかな
時間になりました。

クリスマスソングに合わせて歌声カフ エ

12月18日(水)には、ウクレレ愛好会のカサブ
ランカの皆さんと、演奏活動を長年されてき
た同い年コンビの細田さん・石井さんをお招
きして、ピアノ・歌・ウクレレ演奏によるク
リスマス歌声カフェを開催しました！



クリスマスソングや昔懐かしい青春ソングを
演奏していただきながら、会場にご来場下さ
った皆さんと一緒に歌い、音楽を楽しむひと
ときを過ごしました。



カサブランカの皆さんにはウクレレで
楽しく歌える曲を演奏していただきました！
©CWS Japan



細田さん・石井さんには素敵な音楽を奏でいただきました！ ©CWS Japan

また先月のカフェで開催した大人の読み聞かせ「よんでの会」にも今回再登場していただき、物語の読み聞かせにじっと聞き入る場面もありました。



先月に引き続き、絵本の読み聞かせを披露していただきました！ ©CWS Japan



会場には多くの方にご来場いただき、歌声カフェは終始大盛り上がりでした！ ©CWS Japan

2024年ラストのカフェにピッタリな形で、ご来場下さった皆さんと一緒にクリスマス気分を味わえる素敵な時間になりました。

2024年もおかげさまでさまざまな集いやイベントを通して、多文化・多世代交流の場として新たな出会いや繋がりを得ることができました。2025年もコミュニティ・カフェ@大久保の活動を続けていきますので、引き続きよろしくお祈りします。

1月のカフェ企画のお知らせ

1月のカフェの予定ですが、元旦はお休みをいただき、第3水曜日の1月15日(水)から営業します！

コミュニティ・カフェ@大久保
多文化・多世代共生のための大人の居場所

日時：毎月第1・3水曜日 13:00-17:00
場所：日本福音ルーテル東京教会
東京都新宿区大久保1-14-14 (JR新大久保駅から徒歩5分)

1月の予定

第1水曜日 (1/1) はお休みです！

営業日	イベント企画
1月15日 (水) 13:30-16:00	生地から作るチャパティ教室 Family (事前申込制)
1月29日 (水) 19:00-20:30	インターナショナル事業者交流会 ケーススタディ

※イベントの内容・日程は事前のアナウンスなく変更する可能性がありますのでご了承ください。

最新情報はSNSでお知らせしています！

1月15日(水)は今年の大久保まつりにも出店し、大好評だったチュニジア料理のチャパティを作るクッキング企画を開催します。

コミュニティ・カフェ@大久保
北アフリカ・チュニジアのローカルフード

生地から作るチャパティ教室

2025年
1/15 水
13:30-16:00

menu
Chapati Tounsi + Chai

事前申込フォーム
QRコード

講師 ジャレル & ハッサン
言語 英語・シンプル日本語

参加費 1,000円(材料費等)
持ち物 エプロン、ハンドタオル

住所: 東京都新宿区大久保1-14-14
最寄り駅: JR新大久保駅から徒歩5分
(100円ショップCan Do並び)

主催: コミュニティカフェ@大久保
問い合わせ: CWS Japan 牧 (03-6457-6840, public@cwsjapan.jp)

最新情報はSNSでお知らせしています

最寄り駅: JR新大久保駅から徒歩5分

この事業は文化庁「生活者としての外国人」のための特定のニーズに対応した日本語教育の委託事業です。

ボリュームたっぷりのチュニジアのローカルフードの作り方を教わりながら、ぜひ一緒に味わいましょう。

1月29日(水)は久々の夜カフェ企画もあります。大久保地域における多文化共生と防災の取り組みについて学び合うケーススタディの会となっています！こちらもぜひお越し下さい。

夜カフェ
地域による多文化共生の取り組み

新大久保商店街振興組合「インターナショナル事業者交流会」ケーススタディ

参加費 無料 予約 不要

こんな人におすすめ!
多文化共生、地域づくり、コミュニティ防災に関心がある
市民・学生・研究者など

国内で最も多国籍な大久保の商店街組合には、インターナショナル事業者交流会があります。2017年に日本、韓国、ネパール、ベトナムの4か国出身者によって結成されたことから、通称「4か国会議」とも呼ばれていますが、現在はこれらの国籍に限らず、また地域外からも経営者が集まっています。今回の夜カフェは、その創設メンバーを囲み、その設立経緯、異なる文化的背景を持つ経営者達との協働苦労話などをうかがいながら、多文化共生地域の防災へのヒントを模索したいと思います。

日時 2025 1/29 水 19:00~20:30

会場 日本福音ルーテル東京教会
東京都新宿区大久保1-14-14
(最寄り駅: JR新大久保駅から徒歩5分)

ゲスト 伊藤節子 さん
地元大久保生まれ
大久保通りで印章店の島村印店を経営
2015年から6年間、新大久保商店街振興組合理事長を務め、現在は同組合顧問 新宿区日韓親善協会会長

主催: コミュニティ・カフェ@大久保
問い合わせ: CWS Japan 牧 (03-6457-6840, public@cwsjapan.jp)

この事業は文化庁「生活者としての外国人」のための特定のニーズに対応した日本語教育の委託事業です。

コミュニティ・カフェ@大久保の
各種SNSはこちら!

・ Facebook ・ Instagram ・ X(旧Twitter)

2024年もありがとうございました！

こんにちは。事務局長の小美野です。

2024年もそろそろ終わり、新たな年になるこの節目に、改めてCWS Japanの活動を支えて下さっているご支援者・関係者の皆さまに感謝の意をお伝えします。本年も世界各地で自然災害や紛争による人道危機が続く中、皆さまからの温かいご支援により、多くの人々の力を引き出すことができました。

ここで2024年の主な活動報告と、2025年の取り組みについてお伝えさせていただきます。

2024年の活動報告

まず、緊急支援事業においては、国内外の災害に対して迅速な対応を行うことができました。

国内では、能登半島地震の被災地において、地元教会や子ども食堂と連携して輪島市内の避難所での炊き出し活動を実施いたしました。

また、アフガニスタンでは深刻な食料危機に対し、バーミヤン県、ナンガルハル県、ヘラート県において、食料支援や生活必需品の提供を実施。特に2023年11月の西部地震で被災された方々に対しては、安全なシェルターの提供と生活再建のための現金給付を行いました。



輪島市で開催したカフェの様子。
撮影：李海勲(バプテスト京都教会)

また、ミャンマーを取り巻く情勢においても、必要な支援を必要な場所へと常に模索し、行動しております。

開発支援事業では、災害に強い地域づくりを目指し、複数のプロジェクトを展開いたしました。

パキスタンのシンド州では、2022年の大洪水被災地における農業復興と防災力強化支援を開始。灌漑用水路の改良や溜池の新設など、気候変動に対応した支援を実施しています。

アフガニスタンでは、ナンガハール県とラグマン県において、防災インフラ整備を完了し、防災人材育成にも注力いたしました。特筆すべきは、タリバン暫定政権発足後初めての試みとして研修生を日本に招へいし、東京と静岡での防災研修を実施できたことです。



静岡県の大谷崩で構造物対策を学ぶ
アフガニスタンからの研修参加者 ©CWS Japan

また、アジア地域における先進的な取り組みとして、CWS Japanが担っているADRRN Tokyo Innovation Hub (ATIH) を通じ、今まで約100件のイノベーション案件の支援を行い、フィリピン、インドネシア、インドの防災イノベーターの育成に貢献いたしました。



ATIHも参加するプログラム
Community-Led Innovation Partnership (CLIP)を通じて支援するイノベーターが表彰されました。

@CWS Japan

国内では、災害時により脆弱な立場に置かれる外国ルーツの方々への支援として、新宿区大久保地区でのコミュニティカフェの運営や、生活相談、日本語学習支援などを通じて、多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めてまいりました。



2024年3月に開催した、スリランカ人講師による料理教室 ©CWS Japan

さらに、支援の質の向上を目指し、スフィアをはじめとする人道支援の国際基準の普及活動や、原発事故における人道支援ガイドラインの作成にも着手いたしました。

▼活動の詳細に関しては年次報告書も発行いたしましたのでぜひご覧ください。



これらの活動は、ひとえに皆さまからの温かいご支援とご協力があってこそ実現できたものです。心より感謝申し上げます。

2025年の取り組み

2025年に向けて、私たちは以下の取り組みを重点的に進めてまいります：

- 気候変動に対応した防災・減災支援の強化：特に防災の技術移転をコミュニティ防災に繋げ、インドネシア、パキスタンやアフガニスタンなどでの活動を通じて、地域の防災力向上に努めます。
- 人道支援の質の向上：支援の現地化推進と、より効果的な支援実施のための体制作りを国内外において強化します。
- 防災・減災のムーブメント化：国内外の様々なネットワークを通じ、防災・減災が一プロジェクトのみならず、社会のムーブメントとなっていけるよう、さまざまな灯をともしてまいります。

私たちは、「たった一人のためにでも、世界をつなげたい」という理念のもと、より効果的な支援活動を模索し、展開してまいります。引き続きCWS Japanの活動にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、新たな年を迎えるにあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

謹んで年末のご挨拶とさせていただきます。

2024年12月27日
CWS Japan事務局長
小美野 剛

特定非営利活動法人CWS Japan
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館25号室

メールアドレス：
public@cwsjapan.jp
電話：
03-6457-6840



[CWSJapan](https://www.facebook.com/CWSJapan)



[@Japan_CWS](https://twitter.com/Japan_CWS)



[cws_japan](https://www.instagram.com/cws_japan)